

民主党は世論の反発を受けめよう、強制力を無くして法案を通そうとしています、だまされないでください。成立後にこっそり改悪し強制力を強めるつもりです。

もしも…「人権侵害救済法案」が成立してしまったら…



あなたが人権侵害を言す怖れがあると、委員会から通達がありました。

ええっ

●委員会が人権侵害・差別を冒した、または人権侵害差別を誘発、または助長するおそれがあると判断した場合

- 一、立ち入り調査
- 二、証拠品の押収
- 三、事情聴取のための呼出し

を、裁判所や警察の許可なく自由にできる権限を持っています。

これを拒否する場合は、三十万円の過料の支払い、また差別者として世間へ個人情報の広報が行なわれます。

メールの履歴に、セクハラを誘う発言がありました。

差別

HDD内に過去の歴史を検証するサイトの履歴があります。

差別

外国人が、主人公に勝負で負けるシーンがあります。

差別

この曲は現状への疑問が唄われています。

差別

●何が差別か人権侵害かは人権委員会が決めます。委員会が判断すれば、それが差別になります。

●不眠、申し開きがある場合は、個人負担で裁判を開くしか手段はありません。また、冤罪の場合でも、委員会は謝罪に応じる義務はありません。

差別なんて…こじつけです。

委員会が厳正な検討の結果に判断したことです。証拠品は一時預かります。

詳しい事情を伺いたいので、指定日までにこちらへおいで下さい。



●人権擁護委員は、糾弾による啓発は正当な人権教育であると主張しています。その糾弾会は一度で留まることを知りません。

●また、人権擁護委員への参加に、大いなる意欲をみせています。差別者

●人権委員会は五名で構成され、その下に事務局、そして全国に二万名の人権擁護委員を配置し、人権侵害や差別に対する啓蒙教育、調査を行なう組織として活動します。

●しかし、人権侵害や差別の定義はなく、委員会自体も権限に限りがない(三権と独立した機関のため抑止力になるものがない)最強の権力を持つことになるため、国民の人権を蹂躪し「法の下の平等」を侵害するものになります。

●この法案が国会で可決されると、国民一人一人の言動、さらには心の中まで介入され、ありとあらゆる自由が奪われることになるでしょう。

●数年前にこの法案が審議された時(マスコミが反対の大キャンペーンを張っていた「メディア規制法」は、この法案の一部です)と違い、今回はマスコミへの取材活動の規制を凍結させている為か、この法案の本当の危険性も今ひとつそりと国会で可決されようとしていることも、マスコミは黙ったまま見過ごしています。

●このまま大人しく黙って可決されるのを見過ごしては、日本は民主国家から一部の者の独裁国家へと変わってしまいます。

●インターネットでこの事を知った一部の国民と、国民主権・民主国家の日本を守るうとする良識ある議員の方々が、今現在猛反発し、瀬戸際の攻防戦をくり返しています。

●国民の声は我々が思っている以上に、政府や政党への影響力があります。(声を上げていくからこそ瀬戸際で止めているのです。しかしまだ推進派は諦めていません)

●自由を永遠に失わないためにも、どうぞ反対の声をあげて下さい。そして一人でも多くの身近な人に、この法案の危険性を話して下さい。

●民主主義を守る為、我々の声が、今一番必要とされています。

現実に法の下で行なわれることになります。

こんな法案が絶対に成立しないよう、地元の議員に断固反対の意思をファクスや手紙で訴えてください。 このチラシは、マスコミが伝えない法案の危険性を知らせるために個人が制作、配布しています。